えんど久子県議（別府市選出）県議会の常任委員会で

# 医療的ケア児やふたご三つ子への支援強化を

## 本会議での発言機会を増やせ

２人になった日本共産党県議団ですが、一般質問は４年間で９回しかありません。しかも、一般質問した会派は議案質疑ができないという規定があります。日本共産党は、本会議での発言の機会を増やすことなど議会改革を求めています。

１２月の県議会では、堤栄三県議が一般質問しました。

## 保護者は睡眠不足が深刻

１２月６日の県議会の福祉保健生活環境委員会で、えんど久子県議は、医療的ケアが必要な子どもや双子三つ子など多胎児の家庭への支援について「保護者は睡眠不足で大変だと聞くが、さらに支援が必要では」と質問。

## ショートステイ増やすために

医療的ケア児については「ショートステイの受け入れを増やすために、今年度(移動式リフトやシャワーストレッチャーなどの)設備整備への助成を行っている」と回答がありました。

多胎児の育児支援については「なるべく多胎児の育児経験者をホームスタート(悩みを聞きながら一緒に家事をするなどサポート)として派遣するなどしている。大変さは認識しているので今後プランに反映させたい」と答えました。

## 地域の医療を守るべき

病院の再編統合問題について、えんど県議は「山香病院は９７％と満床に近く全国の類似病院でトップだ。大変努力されて経営状況もよい。地域医療を守るべきだ」と発言しました。

本会議で知事より「質の高い医療がどこでも受けられることが重要だ。国のやり方は遺憾だ。国に真摯に対応してもらいたいと全国知事会で要請した。地域医療構想調整会議でていねいに議論していく」などの答弁がありました。

福祉保健生活環境委員会で質問するえんど久子。「地域のみなさんは自分たちの病院という意識が高く、のぼりを立てて反対している」とえんど久子。

2019.12.6.大分県議会

# 日本共産党 県政ニュース

発行責任者
大分県議会議員　えんど久子
TEL・Fax０９７－５３７－２３４４

No.35
2019.12.18.

えんど久子のホームページはっぴーえんど・どっとねっとをぜひご覧ください

## 意見書を全会一致で採択

# 公的病院への支援拡充を求める

１２月県議会最終日の１１日、公立・公的病院の維持・存続のための支援の拡充を求める意見書が、全会一致で採択されました。県民クラブが提出者でした。今後も力をあわせていきましょう。

## 原発事故から子どもを守るための請願 不採択に

県議会のえんど県議が所属する委員会で、原発事故から健康を守るための安定ヨウ素剤の事前配布を求める請願を審議。１０人もの傍聴いただき、えんど久子県議は提出者のみなさんの思いを代弁し発言。

今は県内１カ所、県病の近くの薬剤師会に備蓄しているヨウ素剤。分散して備蓄するなど少しでも前にすすめたいと、本会議では賛成討論を行いましたが、不採択になり大変残念です。

## 日田彦山線の復旧を求める意見書 提出できず

日田彦山線は鉄道による地元負担のない早期復旧を、という趣旨の意見書を１２月の県議会に提出したいと準備しました。ところが、他会派からの賛成者が得られず、本会議に提出することができなかったのです。非常に残念です。

２人の提出者と２人以上の賛成者がなければ本会議に提出できません。

今後ともがんばります。

最終日に討論をするえんど久子県議
２０１９．１２．１１．
県議会本会議場にて

## 来年度 介護のイメージアップ大作戦を

来年度の予算要求の中に「介護のイメージアップ大作戦事業」１９９７万４０００円が含まれています。

ＰＲ動画を作ってＳＮＳで発信する、若手介護職員の交流研修会などをやりたいとのことです。

## 関係者の声を反映して

１０月１８日に介護職員確保についての県との意見交換会をしました(写真)。この時に出た「介護職のイメージアップのため３Ｋのイメージを払拭するＣＭを」「障がい者の暮らしを知ってもらうＤＶＤを」という声が反映されていると感じます。

えんど県議は「ありがたい内容だ。現場の声を聞きながら取り組んでほしい」と発言しました。

大分県議会HP→インターネット中継で本会議の録画を見ることができます。ぜひご覧ください